

平成30年度予算見積調書

課室名：生涯学習文化財課

担当名：指定文化財保護担当、文化財活用

内線：6981

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B97	文化遺産調査活用事業		一般会計	教育費	社会教育費	文化財保護費	文化財調査費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例			宣言項目		
						分野施策	061348 郷土の魅力の創造発信	
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>埼玉の歴史文化を再発見し、埼玉の魅力を世界に発信するため、潜在的な歴史文化遺産を新たに掘り起すための学術調査を実施するほか、文化財の保存活用に関するマスタープランを策定する市町村に対して支援を行う。</p> <p>(1) 無形民俗文化財調査研究費 3,224千円 (2) 自然遺産調査研究費 1,030千円 (3) 歴史遺産調査研究費 81千円 (4) 地域の文化財保存活用のマスタープラン策定支援事業 288千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 無形民俗文化財調査研究費 県内の無形民俗文化財についての総合的な調査を実施する 3,224千円 イ 自然遺産調査研究費 県内の自然系の文化財についての総合的な調査を実施する 1,030千円 ウ 歴史遺産調査研究費 県内の歴史系の文化財についての総合的な調査を実施する 81千円 エ 地域の文化財保存活用のマスタープラン策定支援事業 マスタープランを策定する市町村に対して支援を行う 288千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 無形民俗文化財のうち「巡り・廻りの民俗行事」についての調査を行い、保護・普及・活用のデータとする。 イ 自然系文化遺産のうち「石灰岩地自然遺産」について調査を行い、保護・普及・活用のデータとする。 ウ 歴史系文化遺産のうち「新編武蔵風土記稿」に係る文化財の調査を行い、保護・普及・活用のデータとする。 エ 先行事例の調査を行い、市町村職員を対象とした研修会を開催する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>新たな文化遺産を掘り起こし、埼玉の歴史文化の再発見が進むことで、県民のアイデンティティを醸成することができるとともに、世界的なスポーツ大会等を機に、埼玉の魅力を世界に発信することができる。 マスタープランの策定に取り組む中で、文化財保護と愛護の推進が図られるとともに、観光資源としての埼玉ブランドを発見することができる。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況								
普通交付税（その他教育費） (区分) その他教育費 (細目) 社会教育費 (細節)) 社会教育・文化財保護費 (積算内容) 文化財保護関係補助金等文化財の維持管理経費、旅費、備品購入費								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.9人=8,550千円								
予算額			財源内訳				一般財源	前年との対比
決定額	4,623						4,623	714
前年額	3,909						3,909	